

令和2年第2回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会（第1日目）
総務文教分科会審査記録

- 1 日 時 令和2年6月17日（水） 午前11時11分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算（第4号）
- 4 出席委員（8名）
- | | | | |
|----|-----------|-----|-----------|
| 1番 | 渡 辺 昌 君 | 2番 | 木 村 貞 雄 君 |
| 3番 | 本 間 善 和 君 | 4番 | 高 田 晃 君 |
| 5番 | 佐 藤 重 陽 君 | 7番 | 河 村 幸 雄 君 |
| 8番 | 小 杉 武 仁 君 | 委員長 | 大 滝 国 吉 君 |
- 5 欠席委員
なし
- 6 傍聴議員
なし
- 7 地方自治法第105条による出席者
議 長 三 田 敏 秋 君
- 8 オブザーバーとして出席した者
なし
- 9 説明のため出席した者
- | | |
|-------------------|-----------------|
| 副 市 長 | 忠 聡 君 |
| 総 務 課 長 | 竹 内 和 広 君 |
| 同 課 参 事 | 小 川 智 也 君 |
| 企 画 財 政 課 長 | 東 海 林 豊 君 |
| 同 課 財 務 管 理 室 長 | 榎 本 治 生 君（課長補佐） |
| 自 治 振 興 課 長 | 渡 辺 律 子 君 |
| 会 計 管 理 者 会 計 課 長 | 大 滝 慈 光 君 |
| 消 防 長 | 鈴 木 信 義 君 |
| 消 防 本 部 総 務 課 長 | 小 林 精 司 君 |
| 選 管 ・ 監 査 事 務 局 長 | 佐 藤 直 人 君 |
| 教 育 長 | 遠 藤 友 春 君 |
| 学 校 教 育 課 長 | 菅 原 明 君 |
| 同 課 教 育 総 務 室 長 | 船 山 幸 文 君（課長補佐） |
| 生 涯 学 習 課 長 | 板 垣 敏 幸 君 |
- 10 議会事務局職員
- | | |
|-----|---------|
| 局 長 | 小 林 政 一 |
| 次 長 | 内 山 治 夫 |

（午前11時11分）
特別委員長（大滝国吉君）開会を宣する。

○当特別委員会の審査については、当特別委員会に設置した総務文教分科会の所管事務について審査することとし、同分科会の審査については、分科会の会長には総務文教常任委員長が、副分科会

長には総務文教常任副委員長が就任することとし、議事運営することとした。

分科会長（小杉武仁君）総務文教分科会の開会を宣する。

○本日の審査は、議第105号の総務文教分科会所管分について審査した後、議第105号の総務文教分科会所管分について賛否態度の取りまとめを行う。

日程第1	議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算（第4号）のうち当分科会所管分を議題とし、担当課長（企画財政課長 東海林 豊君、自治振興課長 渡辺律子君、学校教育課長 菅原 明君）から説明を受けた後、質疑に入る。
------	---

歳入

第19款 繰入金

（説明）

企画財政課長 それでは、19款繰入金である。この第19款繰入金であるが、このたび森林環境整備基金のほうから繰入金を新規計上するというものである。今回の補正については、歳出のほうで追加をお願いしているけれども、12P御覧いただきたいと思うが、これが農林水産業費のほうで、農林水産課所管になるけれども、林業のほうで新潟県スマート林業推進協議会負担金2,700万円というものを追加お願いしているところである。こちらについては、農林水産課のほうで以前から検討していた航空レーザー撮影を村上市で行うための経費ということで今回補正をしているということであるが、こちらの財源といたして、今年度森林環境譲与税の交付金、こちらについて当初予算に計上した事業費に2,300万円を充当しているわけだが、その分を積み立てするということで予定をしていた。しかし、歳出のほうの14Pの諸支出金のほうにあるけれども、今回積立金を取り止めてもなお不足となる400万円あるので、この400万円をこれまで積み立てした基金のほうから今回繰り入れするというものである。

第20款 繰越金

（説明）

企画財政課長 続いて、20款繰越金であるが、前年度繰越金に584万5,000円をこのたび追加するというものである。

第21款 諸収入

（説明）

自治振興課長 21款諸収入の6項雑入、6目雑入の説明1だが、一般財団法人自治総合センターの令和2年度コミュニティ助成事業の事業採択に伴う計上となる。内訳としては、榎原区が長胴太鼓保管備品整備ということで250万円、金屋区が金屋獅子踊り幕ほか備品整備ということで250万円という内訳になる。以上だ。

歳入

第19款 繰入金

（質疑）

木村 貞雄 今ほど企画財政課長のほうから話あったのだけれども、この内容についてだと、私どもの委員会での付託でないので、本当は聞きたいのだけれども、中身のこと。いか、そのスマート林業の。

(何事か呼ぶ者あり)

木村 貞雄 みんなつながりあるから、だから私ども委員会としても、これは担当課違うからといってなかなかうまくないのだ。

企画財政課長 詳細、細かいところまで申し訳ない、私ども承知している部分としていない部分あるが、私ども承知・・・

木村 貞雄 付け加えて言わせてもらえれば、お金のほうは財政のほうの総務だし、中身についてはその部署のあれのやつ。私ども総務文教常任委員会では、なかなか聞きにくいなのだけれども、やはり全体通して分からないとうまくないと思うのだ。

企画財政課長 それで、細かいところ全部私ども承知しているわけではないが、今回のその航空レーザーについては、当初予算計上していないわけだが、この協議会のほうで今年そり航空レーザーを使って写真撮影をするということで、新潟市と村上市が対象ということで、実施するということでのその負担金が2,700万円ということで私ども確認をしている。その財源として、先ほど申し上げた基金と、それから譲与税のほうを今回充当して実施するというための繰入れである。

木村 貞雄 終わる。

第20款 繰越金

(質 疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

第21款 諸収入

(質 疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

歳出

第2款 総務費

(説 明)

自治振興課長 では、2款総務費、1項総務管理費、13目地域活性化推進費、説明1になるが、協働のまちづくり推進事業経費ということで、これは先ほど歳入で説明いたしたコミュニティ助成の採択に基づいて、先ほどの2件について補助する内訳となっている。以上だ。

第10款 教育費

(説 明)

学校教育課長 それでは、11Pと12Pをお願いする。11Pからお願いする。10款教育費だ。10款1項3目教育振興費だ。説明欄のほうでご説明いたす。教育振興経費107万7,000円の増だ。消耗品費24万8,000円、通信運搬費82万9,000円の増額をお願いするものである。消耗品費については、パソコンのネットワーク管理のソフトウェアやスイッチといったものを購入する予定になっている。ギガスクール構想のオンライン通信ネットワーク整備の無線LANアクセスポイントというものを管理するソフトウェアにな

る。学校教育課に設置予定となっている。通信運搬費のほうについては、小・中学校の光回線速度変更に伴う工事費や通信料の増額になる。同じく10款2項1目学校管理費である。1番、小学校管理経費、消耗品費が405万6,000円の減、コピー機等借上料が405万6,000円の増、差引きゼロであるが、予算のほうの組替えをお願いするものである。小学校に複合機を2台導入する予定であって、機器本体料金、インク料、保守料等を含んだ契約を想定していて、今回組替えをお願いするものである。この仕様に変更しようというのが固まったのが3月議会の予算審議に間に合わなかったのが、今回補正をお願いするというものである。続いて、10款3項1目学校管理費である。中学校管理経費が71万5,000円の増だ。内訳といたしては、消耗品費281万4,000円の減、伐採業務委託料71万5,000円の増、コピー機等借上料281万4,000円の増、合わせて71万5,000円の増額をお願いするものである。内訳といたしては、消耗品費とコピー機等借上料については、小学校管理経費で説明させていただいたが、学校に複合機を導入する予定のための予算の組替えをお願いするものである。伐採業務委託料については、村上第一中学校の市道に面している植樹されている樹木が3月の強風のために根元から調理場側に倒れた。臨時休業中であったので、けがする人はいなかったのだけれども、撤去した業者に確認したところ、土留め付近に植わっているために、根が成長できずに倒れたと考えられるという報告を受けて、台風時期の前に同じ通りに植樹されている樹木、ヒマラヤスギ5本と松1本を早急に伐採したいために今回お願いするものである。説明は以上になる。

第13款 諸支出金

(説明)

企画財政課長 第13款諸支出金であるが、先ほど歳入でご説明いたしたとおり、新潟県のスマート林業推進協議会の負担金の財源といたして、当初から変更いたして事業費充当するというので、このたび積立金を減額するものである。

第14款 予備費

(説明)

企画財政課長 続いて、第14款予備費であるが、予備費については端数調整である。以上だ。

歳出

第2款 総務費

(質疑)

本間 善和 コミュニティ助成金の事業だけれども、これ昨年の秋、9月か10月頃申請をして、今年の春先に内示があるという流れになってくると思うのだけれども、この申請の中には集落づくり事業とか、防災事業とか、いろんな項目のメニューあると思うのだが、コミュニティの中で、今回2件ほど採用されたわけだが、申請の時点では何件ぐらいあったのだろうか。

自治振興課長 内訳としては3件あって、一般コミュニティ事業と、それからコミセンの建築に係る事業と自主防災関係の団体に対する助成と3件あるのだが、一般コミュニティについては20件の申込みが市内からあって、そのうち2件が今回採択になった。それから、コミセンの事業については1件あるが、こちらはゼロ。それから、自主防災委員関係については2件の申請があったが、ゼロということになっている。

本間 善和 私も、この件数20件というの、非常に多くあったのだなということを今初めて知っただけけれども、もっと少ないのかななんて思っていたのだけれども、これは例年こんな数字で上がっているのか。

自治振興課長 例年同じくらいの件数上がっていて、なかなか採択が現在難しいので、多いところではもう5回、6回続けて申し込みというような状況が続いている。

本間 善和 分かった。

高田 晃 今と同じコミュニティ関係だが、非常に人気のあるもので申請数が多いということで、これ今までも一般あるいはコミセン、防災、それぞれ各地域、地区に助成していると。その後の何か追跡調査というか、その効果がどんなふうに出ているかとか、実績がどうなっているかとかいうふうな部分というのはつかんでいるものだろうか。

自治振興課長 それについては、特にこちらで調査はしていない。

高田 晃 堅苦しい調査というか、規定のある調査でなくても、そういう助成が効果的に使われているのかどうかは、今度機会があったらちょっと把握しておいたほうがいいのかというふうに思う。

自治振興課長 これからそのような形で努めていきたいと思う。

本間 善和 ちょっと聞き落としたのだけれども、すみませんが、コミュニティ事業の中で今防災関係で2件はつきり言えばあったという格好なのだけれども、これ総務課長、中身見たか。

総務 課長 集落は確認しなかったが、どういう制度で、どういうものが該当になるという要綱はその日のうちにちょっと自治振興課長さんから資料を頂いて、内容についてはちょっと、制度の内容は把握させていただいた。

本間 善和 私言いたいのはその集落から、不採択になったわけだけれども、どういうものを要望して、総額どのぐらいの金額で要望しているのかということをやはり防災担当者としては横の連携で、自治振興課長のところからそれぐらいの資料は見えていないのかなと思って私聞いているのだけれども。

自治振興課長 私のほうで資料あるので、説明いたす。2件の内訳としては、瑞雲釜杭自主防災会のほうから発電機とLEDスタンドライトの整備ということで、助成申請としては30万円、それから緑町2丁目自主防災会のほうから発電機、ポンプ、灯光器の整備ということで40万円の申請が上がった。以上だ。

小杉分科会長 よろしいか。

本間 善和 分かった。

渡辺 昌 この今の補助金の制度は10年ぐらい前からあると思うのだけれども、今回採択されたのはいわゆる郷土芸能と言われるものだと思うのだけれども、採択されやすい傾向とか、例えば前年度落ちたものに対して文章を付け加えて翌年度出すとか、そういうふうな工夫というか、傾向と対策みたいなことは取り組んでいるだろうか。

自治振興課長 なかなか全体、県の中でも枠が厳しい中での申請になるので、うちのほうで申請に当たって特にそういったことはしていない。

渡辺 昌 私も、過去にそれをやる係やったこと、集落の係やったことあるのだけれども、例えばほとんどどちらのほうだと支所の担当者になるのか、担当者の熱意というのも結構あるような感じもするので、その辺もうちょっと取り組んでいただければと思う。

自治振興課長 なるべく採択が多くなるように努めていきたいと思う。

第10款 教育費

(質 疑)

- 佐藤 重陽 先ほど12Pのところ、小学校管理費と中学校管理費の中で、コピーの要は借上料ということで、消耗品費とコピー機等借上料と同額なわけだけれども、この消耗品費というのは、もともとこういうコピー関係に関係したもののなわけ。
- 学校教育課長 小学校も中学校もそうなのだが、コピーカウンター料、コピーで使うカウンター料、そちらの部分についてコピー機借上料ともそちらのほうを多くある。そちらのほうをコピー機等の借上料という形に回ささせていただきたいというものである。
- 佐藤 重陽 要はつまりは、この消耗品費というのはもうコピーのカウンター料だったのだと。それをコピー機等借上料として今度その項目を変えたというか、そういうことなのだね、同額というのは。
- 学校教育課長 コピーカウンター料あるいは印刷機のインクとか、そういった印刷に係る部分の消耗費というような形のものが含まれている。
- 小杉分科会長 よろしいか。
- 佐藤 重陽 はい。
- 高田 晃 今と関連してと、同じ質問なのだが、この消耗品かなり小学校費、中学校費、全校入れると額とすれば大きい数字になって、そのうちの400万円なので、いいのだが、これ本当にコピー機のそのカウンター料だけの金額、この400万円というのは。間違いないのか。
- 学校教育課長 コピーのカウンター料、そして印刷機のインク代、そういったものが含まれている。詳細については、手持ちちょっと資料ないのだけれども、そういったものでコピーのほうの印刷に係る部分の消耗品を使うと。そちらを回ささせていただきたいというふうに考えている。
- 高田 晃 今の説明で、小学校で2台といったか、複合機2台、中学校で何台か。
- 学校教育課長 中学校も、小学校と同じく2台予定している。
- 高田 晃 そうすると、これコピー機等借上料になっているが、このカウンター料、リースなのだろう。
- 学校教育課長 リースと言えばリースだけれども、レンタルと言えばいいのか、機械もインクも保守も含まれているという形なので。
- 高田 晃 そうすると、カウンター料どうなるのか。
- 学校教育課長 カウンター料については、一定量までこのレンタル料の中に含まれているというものである。
- 高田 晃 一定量というところのくらいかちょっとあれなのだけれども、そうすると各学校で通常使用する枚数はこのレンタル料に含まれるだろうという考えでいいのか。
- 学校教育課長 通常学校で使う枚数については、この金額であれば足りるという形を見込んでいる。
- 高田 晃 分かった。
- 木村 貞雄 今のあれなのだけれども、そうすると予算的には問題ないのだよね。というのは、消耗品が予定しているのに不足になりがちなのだけれども、今までの予算のやり方は、消耗品の中にインク料とかカウンターとか、そういうのが含まれているので、今回はそれを予算の組み替えしたわけであって、私確認したいのだ。今後の予算には、消耗品の不足というのは考えられないということだよ。
- 学校教育課長 大変消耗品が不足しないような形での学校への指導という、お話をしていきたいと

いうふうに考えている。足りないという形がないように何とかしたいと思っている。

(何事か呼ぶ者あり)

木村 貞雄 ということは金は出ない。

企画財政課長 補足申し上げるけれども、私ども確認していたのは、今回コピーと印刷機それぞれ学校に今まで個別の契約であるわけだけれども、それを学校の特別な形で複合機という形で別な機械を使えるという、新しいその契約形態が業者から提案があったということで、そちらのほうを選択したほうが有利だということで、今までの契約形態はカウンター1枚につき消耗品幾らというのは、さっき高田委員がおっしゃったけれども、1枚当たり幾らというのをカウンター料ということで消耗品で払っていたわけだが、その分を減額して、このコピーの借上料という形で新しいその契約形態で持っていくことでそれが賄えるということでの組み替えだ。消耗品不足しないかどうかというのは、これ学校教育のという話になるが、そのコピーに関してはそういうことで、今までよりもそちらのほう有利ということで賄えるということで今回組替えをお願いするということである。

木村 貞雄 私確認するのは、だから今後消耗品が不足にならないように、今までも数年前は物すごくその消耗品が不足して、学校側から本当に困った話たくさん聞いてきたので、そういう今の組替えの考え方でいくと、そこには差し障りないと私判断しているのだけれども、今後そういった関係で消耗品不足のないようによろしくお願ひしたいと思う。

学校教育課長 各学校の消耗品が不足にならないような形で努めていきたいというふうに考えている。

河村 幸雄 12Pの中学校管理経費、伐採業務委託料ということで村上第一中学校の植樹の撤去の問題があったということである。これは、各学校でもあり得ることと思うので、情報把握というか、桜の古木などもあるので、その辺を把握していただければなというふうに思うが。

学校教育課長 各学校に植樹されている樹木については、それぞれ学校あるいは各教育事務所からの情報を収集しながら、危険のないような形の対応を取っていきたいというふうに考えている。

河村 幸雄 よろしくお願ひいたす。

第13款 諸支出金

(質 疑)

木村 貞雄 説明よく分かったのだが、この基金費について、当初予算でまず2,300万円予算組んだわけだけれども、この全額というのを減額しているわけなので、当初その予算化したということは、目標はあるのだろう、その辺について。

企画財政課長 基金の積立ての目標という、これちょっとまた性格が違うと思うのだが、こちらについては、森林環境譲与税が交付されるということで、今年また増えたわけである。全体で6,800万円ということで交付される今予定になっているわけだが、主にやっぱり林業ということで使途が限られてくるので、4,500万円は当初予算で事業に充当するというので計画をしていたわけだが、その残りの2,300万円は、今後備えて2,300万円を積み立てるということにしていたということだし、航空レーザーについても計画はあるが、当初の段階ではまだ実施できるという見込みがなかったもので、それらを見込んで積立てをしたということである。

木村 貞雄 終わる。

第14款 予備費

(質 疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

【賛否態度の発言】

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で質疑を終結し、賛否態度の発言を求めたが発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第105号のうち総務文教分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

佐藤 重陽 閉じる前に1つだけ。分科会がいいのか、この後、もう常任委員会終わったものね。それ1つ皆さんにも聞いていただきたいのだけれども、いいか悪いか。副市長がいるので、特にそのことについて答えられたら聞かせていただきたいのだが、今国の大型補正が決まったわけだね。そうすると、それを受けて当然市町村に来るわけだけれども、それについての追加議案で来るのか、それとも、本来大型、大型と言っているから、あまり大きなものをまた専決補正だとか、簡単な果たして追加議案としてぽんと出てきて、それだけでいいのかなというちょっと不安というか疑問もあるものだから、その議案の提出の仕方について今どんなふうを考えているか、ちょっとそのことについてお話聞ければなと思ったのだが。

総務 課長 議会事務局を通して前からそれは相談させていただいている。ちょっと額自体も、まだ実は幾らだと枠も来ていない。昨日現在ではまだ来ていない。ちょっと遅いなというところはあるのだが、あとは手法についても内部で十分検討させていただく。ただ、今日段階ではまだちょっと出し方については正式に決定いたしていないので、決まり次第議会運営委員会を通してご相談させていただきたいなというふうに思っている。

小杉分科会長 よろしいか。

佐藤 重陽 はい。

分科会長（小杉武仁君）閉会を宣する。

(午前11時43分)